

編集後記

本号は第117回学術大会の抄録号となっています。演題数は100を超え、その中には多数の初参加の発表者も含まれます。

過去の学術大会の発表演題については、本誌の過去号で演題と要旨を知ることができます。他には、学会のウェブサイト (<http://jsmh.umin.jp/>) でも、「過去の学術大会」のページ (http://jsmh.umin.jp/congresses_past.html) に演題の題目を掲載しています。また「日本医史学雑誌」のページ (<http://jsmh.umin.jp/journal/index.html>) では雑誌のバックナンバーを公開していますので、すべてではありませんが過去の抄録号の要旨を見ることが可能です。

本誌のバックナンバーの公開が始まって1年が過ぎました。数年前から学術団体の情報発信が各方面から強く求められるようになり、本誌も公開する場所や方法について検討を重ね、2015年から公開が始まりました。検討していく最中にも学術雑誌を取り巻く状況が変化し、雑誌のあり方も多様になりました。従来の紙媒体のみの雑誌、紙媒体を作らない電子版のみの雑誌、有料でウェブ公開しているもの、すべて無料でウェブ公開しているものなど様々な形の雑誌が存在し、各学会は学会の性質や会員の状況に応じて雑誌のあり方を決めています。

本誌では従来の紙媒体を主体としながら、雑誌掲載後5年経過したものから公開することになりました。個人的には、目的とする論文をPCやスマートフォンで閲覧できるようになり、雑誌を引っ張りだしてあれやこれやと探す手間が省け、非常に便利になったように思われます。他方で、ページをめくりながら目的とは違う興味深い論文に偶然出会う機会が失われてしまい、却って、雑誌を手取る楽しみを求めて積極的に雑誌を読むようになりました。他には、検索サイトで検索するとウェブ公開されている本誌の論文に出くわすことが多くなりました。

本誌や学会ウェブサイト等を医史学研究に利用していただき、多数の研究発表・論文投稿につながることを期待します。

(澤井 直)